

日本のMayo Clinicを目指す会

「日本のMayo Clinicを目指す会」 看護部の取り組み

野口 久美子

看護部 総看護部長



はじめに

「メイヨークリニックを目指す」とお聞きしたのは、平成23年1月の新年拝賀式で理事長（現在の名誉理事長）がアメリカのMayo Clinicの歴史や成り立ちを埼玉医科大学と照らし合わせて説明された時でした。その後、理事会で「21世紀ビジョン会議」が設置され、世界から注目され尊敬の目で見られている医療機関であり、埼玉医科大学がメイヨークリニックに近づくよう努力を重ねて行こうと「日本のメイヨークリニックを目指す会」に繋がり、平成26年8月までに全11回の全体集会が開催されました。この間“おもてなしの心”で接するサービス業の方々、サービスを受ける、利用する側からの講演がありました。第7回から各メディカルスタッフ部門からの発表となり、看護部では、第7回全体集会で看護の質向上の取組を発表しました。

看護の質の向上に向けて

看護の質とは「必然的に看護に従事する人の質を確保するための方法＝訓練・教育のあり方」と言われています。看護の分野においては、看護計画、看護基準・手順、看護研究、看護記録、看護診断、看護方式等列挙する他にも様々な概念や方法が紹介されて来ました。当大学看護部においても必要な部分は追隨して来ました。

看護職の教育として、「患者さんには満足度の高い安全で安心できる質の高い医療を提供する」の基本方針に則り、医療人として知識、技術、態度の修得に注力して来ました。看護職の育成・成長のため卒後教育計画の充実、院外研修の推奨、院内異動の推奨、豊かな人間性、社会性の醸成、拡大のための接遇教育や人事交流などを行って来ました。患者さんにとって医療職の笑顔、挨拶などのコミュニケーションを中心とする対応が、治療過程において最も大きな力を発揮していくと考え、接遇教育・指導には今も重きを置いております。看護職の実践能力における評価は、クリニカルリーダーやマネジメントリーダーの導入を行いキャリア開発の支援体制を整えました。

平成22年には職員キャリアアップセンターを開設し、厚生労働省認可の「看護学生実習指導者講習会」、中堅看護師を対象とした「看護研究の実際」、再就職支援事業、地域への公開講座等を行って来ました。平成26年12月からは、日本看護協会から認定を受けた「認定看護管理者ファーストレベル研修」を開催しています。メイヨークリニックの精神（6つの条件、表1）や“患者のニーズを最優先する”“患者に最高水準の治療を行う”が、埼玉医科大学の理念「限りなき愛」新たなミッション「Your Happiness Is Our Happiness」、運営の基本方針「患者さんには満足度の高い安全で安心

表1.

Mayo Clinicの精神（6つの条件）

1. 利益ではなく、サービスの理想を追求し続ける
2. 患者のケアと幸福を、第1にかつ真摯に考え続ける
3. スタッフ全員が他のすべてのメンバーの専門家としての進歩に関心を持ち続ける
4. 社会の移り行くニーズに対応して変化していく意欲を持つこと
5. やらなければならないことすべてに対して卓越した結果をめざす
努力を続けること
6. 絶対的な誠実さをもってすべての業務を行うこと

できる質の高い医療を提供する」の何れにも合致するため看護部では、教育、研修を含め埼玉医科大学の職員として誇れる医療人となるよう人材の育成を今後も続けていく方針です。

「日本のメイヨークリニックを目指す会」への意識向上のために

「日本のメイヨークリニックを目指す会」への参加者が限定傾向にあり、メイヨークリニックの精神が各職場に十分浸透し対応しているかという点においては甚だ疑問です。今後、職員への周知、活動への参加を増やしていく事が求められます。今迄の全体集会を聴講して各部門の現状把握、他職種の現状を理解し職種間の協力体制が強化されたという感想や、とても勉強になるので多くの人に参加させてあげたいとの希望もありました。今後は看護師が医療チームの架け橋であるという認識と行動力を高め、安全・安心なチーム医療のために多職種との協調・協働を意識して進められるようにこの全体集会への参加が増えるようアナウンス強化などを行っていく予定です。

看護部として今後の活動

現在取り組んでいるHappiness活動の見える化として、挨拶運動、行動のしおりの唱和を行っております(図1)。また、管理者のHappiness標語の掲示等を実践しています。

今後は以下の7つを意識化し実践したいと考えております。

1. メイヨークリニックの精神について卒後教育計画の中に組み込んでいく(新採用、中途採用者、年次別教育に採用)
2. Happiness活動の見える化と案内
3. 課題を評価する(患者さんやご家族、職員の声から改善への取組を評価)
4. 日本のメイヨークリニックを目指す会への会員登録の推奨
5. 不参加者に対する教育・学習(Eラーニングの活用)
6. 法人看護職員の集まる会等を利用しキャンパス毎の報告会
7. メイヨークリニックの精神を地域住民や患者さんにも広め、Happinessをコミュニティの合言葉にする。

職員がこの活動の意味することを理解することが大前提ですが、埼玉医科大学職員の活動や情報発信を通し埼玉医科大学を利用される方々から高評価がいただける組織になっていくこと、そして地域を巻き込む活動になっていくことが安全・安心な地域、住み続ける環境に繋がり、人々の生きていく「幸せ」になります。

「日本のメイヨークリニックを目指す会」の活動が大きく成長していくことが「医療・福祉の理想郷を目指す」という大学の方針に繋がります。日本のメイヨークリニックを目指す会の発展には是非皆様のご支援・ご協力をお願い致します。



A.



B.



C.

図1. 挨拶運動・行動のしおりの唱和。

A, B: 埼玉医科大学病院での挨拶運動, C: 行動のしおりの唱和。